

✓

禁止出納

銀行用

D—72—管調資—No.21

# 各国事情のしおり

—— 中華民國編 ——

JICA  
121  
20  
EX  
BRARY

1972・8

海外技術協力事業団

国際協力事業団		
受入 月日	87.4.22	121
登録 No.	08483	20 EX

## は し が き

本小冊子は、技術協力のために海外に派遣される専門家のオリエンテーション用資料として、中華民国職業訓練センター理事長・小守虎雄氏からの調査報告をもとに作成したものである。

本小冊子は、専門家の日常生活に密着した任国事情、特に衣、食、住、気候、教育、公共施設、治安、対日感情等を重点に作成した。本小冊子の各項目については、今後も適時修正をおこなってゆくが、本小冊子が同国に赴任する専門家の何らかの参考になれば幸である。

昭和47年9月

海外技術協力事業団

理事長 田付 景一

JICA LIBRARY

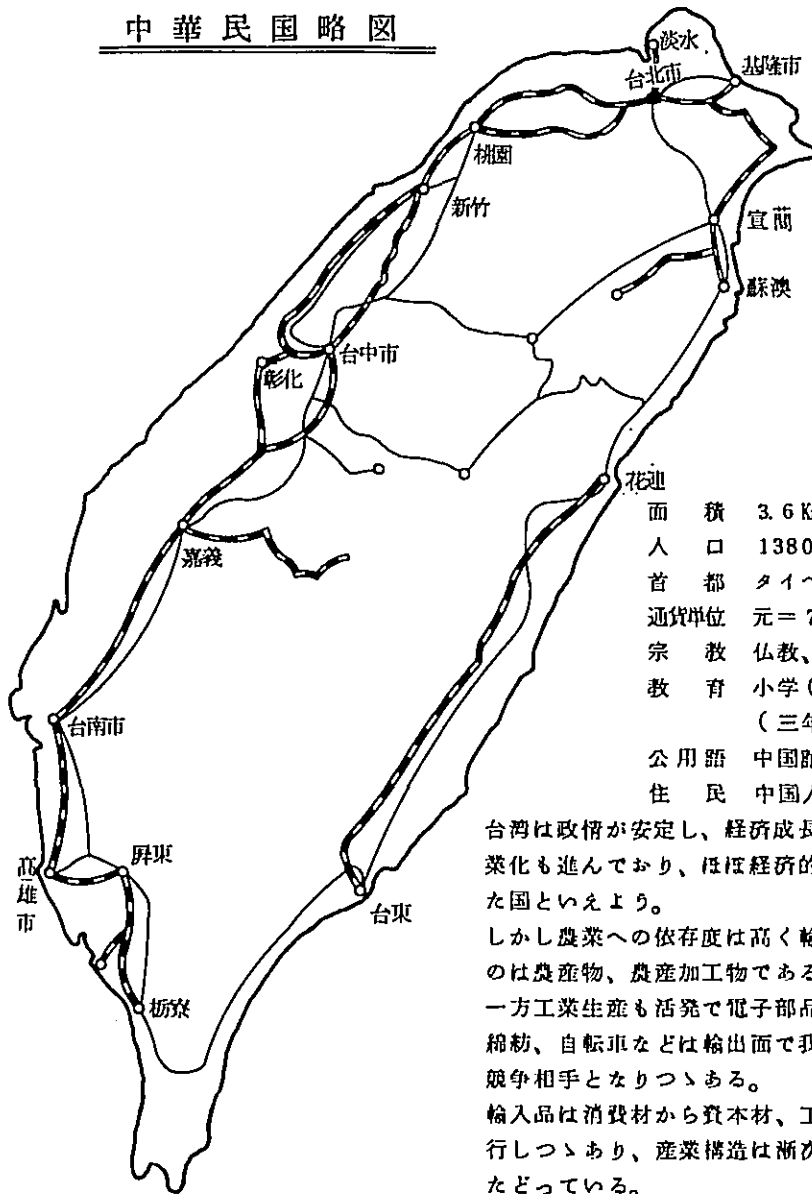


1027012[2]

## 目 次

I 任 国 事 情	2
1. 住宅（住宅事情、家賃、ホテル、什器・備品）	2
2. 食品（食料事情、価格、外食その他）	6
3. 衣類、日用品（衣料事情、日用品）	13
4. 使用人	15
5. 医療（医療事情、医薬品、疾病の種類、健康管理）	16
6. 子弟の教育機関（教育制度、教育機関、授業料、 通学方法）	18
7. 娯楽設備（保養地等、余暇、日本人クラブ等）	20
8. 電 力	21
9. 交 通（交通事情、タクシー、ハイヤー、レン タカー、自動車購入、運転免許、ガソリン等）	21
10. 為替（相場、滞在費等の受取方法）	25
11. 出入国管理（税関検査、外人登録、ビザの更新手 続等）	26
12. 便宜供与（種類、カウンターパート等、免税特権）	27
13. 通信、運輸（郵便事情、運送）	29
14. 言語（公用語、英語等の普及度、原地語事前学習、 語学学習）	31
15. 気 候	32
16. 治安（一般情勢、夜間外出、緊急時における連絡 方法）	32
17. その他（対日感情、新聞、雑誌等、風俗・習慣、理 髪、美容、買物）	33
II 同国に対する我国の技術協力実績	37
III 大使館連絡先	41

## 中華民國略図



面積 3.6 Km<sup>2</sup>  
 人口 1380万人(1969)  
 首都 タイペイ  
 通貨単位 元 = 7.68円  
 宗教 仏教、キリスト教、道教  
 教育 小学(六年)、中学  
 (三年)義務教育  
 公用語 中国語  
 住民 中国人、高砂族

台湾は政情が安定し、経済成長率も高く、工業化も進んでおり、ほぼ経済的自立を達成した国といえよう。  
 しかし農業への依存度は高く輸出品の主なもの  
 は農産物、農産加工物である。  
 一方工業生産も活発で電子部品、セメント、綿紡、自転車などは輸出面で我国との有力な競争相手となりつゝある。  
 輸入品は消費材から資本材、工業原材料に移行しつゝあり、産業構造は漸次工業化の道をたどっている。

## 1 任国事情

### 1. 住 宅

#### (イ) 住宅事情

##### ① エージェントの有無

有り。

代書業者（日本の行政書司）のごく一部が兼業している程度で、殆んど利用されてない。

当国人も通常は新聞広告、知人の紹介等を利用している。

##### ② 入手の難易度

台北市は建築ラッシュで高層マンション等の建築が盛んであるが、場所、広さ、設備（エレベーター、専用車庫の有無）等やセンター要員に対する借上基準の関係から適当家屋の借上げには困難が併う。

##### ③ 賃借方法

通常の賃貸借契約は1年で、家賃も一年分前払い方式である。

前払いでなければ2万～3万円の保証金（契約解除時全額返却）を要求される例が多い。

#### (ロ) 家 賃

台北市居住のセンター要員には、当国側が宿舍を借上げてこれを要員に使用させる形をとっている。

この場合の借上げ基準は、

	広さの基準	金額の基準(1ヵ月)
首席顧問	38～42坪	5,000元
副  "	35～38 "	4,500 "
その他	32～35 "	4,000 "

この金額基準を上廻る宿舍に入居した場合、基準を超える部分については要員個人の負担となる。

家屋は完全に洋式で当国人、中流家庭で40坪前後の家屋に入っているがこの広さで専用車庫付といった例は殆んどなく、車庫付の場合の家屋面積は60坪前後が普通である。

高雄市居住の要員には、当国側で建築した4階建2棟8戸、1戸当り35坪(3寝室、食堂、応接間、浴室)の合同宿舍が一応用意されている(転居可能)。

なお、土地価格、建築資材費、手間賃等の値上がりにより、家賃相場は上っており、台北市では家賃月額坪当り100～150元(最近の新築家屋で立地条件、設備等のよいものでは150～200元)が大体の目安とされている。

高雄市では、これを若干下廻るといわれるが住居そのものが比較的少なく、また外国人の場合は、当国人間の賃借に比べ割高で、台北とさしたる差はないようである。

## (イ) ホテル

### ① 短期滞在のホテル

台北市、高雄市ともホテルの数は多く、特に高雄市では、やゝ過剰気味である。

台北市

高級ホテル	シングル	600元
	ツイン	660#
一般ホテル	シングル	200~300元
	ツイン	300~400#

(宿泊のみ、これにサービス税等10%加算される)

高雄市では標準料金そのものが、台北市の場合と比較して安く、さらに大巾のディスカウント(20~30%)されるのが通例である。

## ② 長期滞在のホテル

前記一般ホテルでは、長期滞在者(1カ月以上)には、交渉により10~20%の割引をおこなっている。

なお、これらのホテルでは長期滞在者用の宿泊所を営するものもあり、単身者等の利用には便利である。

月極室代 3,000元(シングル、バス付)

~5,000元(ツイン、バス、TV、冷蔵庫付)

勿論食事別で室代の他、電気代等を必要とする例もある。

## (三) 什器・備品

### ① 携行を必要とする食器類等

品質、デザイン、機能等の優劣は別として、通常必要と思われるものは殆んど現地調達が可能である。

陶磁器は日本の露店で販売されている程度のものである。

漆器、ジャー、ジャック等についても現地製品は相当見劣りがする。

勿論日本等からの輸入品もあるが、価格は日本で購入する



場合の 1.5 倍～ 2 倍はする。

② 入居当初必要とする経費

家具類については、当国側が一応準備することになっており、その調達基準は次のとおりである。

基準額

首席顧問	23,000元
副首席 # (北)	20,000 #
(南)	18,000 #
その他 (北)	17,000 #
(南)	15,000 #

調達品目

ソファ、ベッド、テーブル、椅子、扇風機、電気ストーブ、衣裳ダンス、靴箱、ガスコンロ、電気スタンド、衣裳掛等の 18 品目。

中国側の金額基準は、前記宿舍借上基準の広さ基準に見合うもので、中級品以下の家具類を購入し得る程度である。指定品目以外の家具の購入および指定品目でも統計金額が基準を越える場合は、要員の自己負担となる。

なおカーテンは指定品目外であり、通常入居当初自己負担で調整することになる。

質、調製面積により異なるが、レースとの二重カーテンでは 4,000～6,000元程度は必要である。

また住宅の床が通常はめ木細工、プラスチックタイル、しっくい塗等であるためじゅうたんを必要とする向きもある。

じゅうたん価格

高級手織 約 220元 / 30cm<sup>2</sup>

” 機械織 ” 180元 / 30cm<sup>2</sup>

普通 ” 50元 / 30cm<sup>2</sup>

さらにクーラー、冷蔵庫、洗濯機、掃除機、テレビ、ラジオ、テープレコーダ等電機器具類も現地調達可能（主として日本との技術提携による現地合弁会社の製品）であるが、センター要員には免税輸入特権もあり、日本から一揃え持参するにこしたことはない。

## 2. 食 品

### (イ) 食料事情

#### ① 一般的食料事情

食料事情は概してよいといえる。

たとし日本と比較して生鮮食料品、魚、野菜等の品数が少ないように思える。

#### ② 日本食品の入手状況

大体のものは入手できる。

百貨店、スーパーマーケット、食料品店等において購入可能であるが、日本製品は日本における価格の2倍～3倍はする。

味噌、醤油、酢、ソース、缶詰類等の台湾製品もあるが、特殊な味付けであり、日本人にはなじみにくい。

なお日本からの輸入品は最近すべて10～30%程度値上

りしている。

③ 水、燃料、調理器具

水………水質は悪く煮沸しないと飲用できない。

ホテル（一般家庭でも必要に応じて）では蒸留水を使用している。

台北市は人口集中が激しく、また夏季炎天時は濁水期（乾季）で上水道の給水能力をオーバーし断水のおそれがあり、市当局は市民に節水を呼びかけている。

水道料金は基本料 15 元／月、用水料 1.9 元／ $m^3$ 、メーター使用料 6 元／月。

燃料………電気は経済部所属の国営事業である台北電力の独占供給となっている。

夏季炎天時にはクーラー使用で消費量が増加すると濁水で供給量が減り、節電協力を呼びかけている。

料金は基本料、メーター使用料 23 元／月、用電料 0.9 元／ $kWh$ 。

また台北市には都市ガスがある。

一般家庭では都市ガスまたはプロパンガスを使用している。

料金都市ガス基本料 52 元／月、メーター使用料 25 元、使用料 25 元／ $m^3$

調理器具類……ガス器具、電気器具等は通常現地製品（日本との

技術提携によるものが多い)を購入使用している。

④ 日本食レストランの有無

台北市、高雄市とも相当数の日本食レストラン、料理屋がある。

価格は日本と大差ない。

例 日本食大衆食堂

私食弁当(味噌汁付き)	25~35元
うな井	30~35"
天 井	25~30"
カツ井	25~30"
親子井	20~25"
す し(にぎり6ヶ1人前)	20~25"
" (巻1人前)	15~20"

(ロ) 価 格

1斤=600¢ 1元=7.68円

品 名	数 量	金 額
米, 麵 白 米	1斤(蓬米米, 質は良くない)	5 元
小 麦 粉	"	4 "
食 パ ン	150¢	3 "
野 菜 小 豆	1斤	14 "
いんげん豆	"	4 "
馬鈴しょう	"	3.5 "
青 ね ぎ	"	4.5 "
玉 ね ぎ	"	6 "

品名	数量	金額
大根	1斤	4元
人参	"	3"
茄子	"	3.5"
きゅうり	"	5"
白菜	"	8"
キャベツ	"	10"
しゃくし菜	"	2.5"
レタス	"	30"
カリフラワー	"	16"
アスパラ	100g	15"
生姜	1斤	8"
ホーレン草	"	7"
トマト	"	4"
椎茸(乾)	37g	25"
果物 レモン	1ヶ	5"
バナナ	1斤	3"
パイナップル	"	3"
西瓜	"	2.5"
パイヤ	"	3"
柑 橘	"	5~12"
マンゴ	"	12~18"
ブドウ	"	14"

品名	数量	金額
鮮魚 鯛	1斤	3元
鮪	"	50 "
はた	"	40 "
いわし	"	16 "
あじ	"	28 "
さわら	"	48 "
いとより	"	36 "
いか	"	32 "
いさき	"	32 "
かに	1匹	25 "
えび	1斤	120 "
はまぐり	"	12 "
しじみ	"	18 "
塩 鮭	37g	8 "
鮭 缶	220g	35 "
す る め	90g	19 "
海 苔	10枚	14 "
肉 牛	200g (すき焼用)	27 "
豚	"	27 "
豚 (レバー)	1斤	50 "
鶏	"	20 "
鶏 もも肉	1本	10 "

品名	数量	金額
ハム	450g	50 元
鶏卵	1コ	15 "
豆腐	1コ	2 "
納豆	120g	5 "
こんにゃく	1丁	2 "
乳製品 牛乳	230cc	3.5 "
濃縮ミルク	170cc	5.5 "
バター	1/2ポンド	25 "
チーズ	"	25 "
アイスクリーム	1,000cc	35 "
調味料等 ごま油	1斤	28 "
落花生油	"	15 "
サラダ油	"	15 "
食塩	500g	3.5 "
味噌	(現地製) 1斤	6 "
	(日本製) 1Kg	34 "
醬油	520cc	12 "
	(キッコーマン) 2ℓ	75 "
酢	500cc	6 "
砂糖	2Kg	25 "
ソース	(キッコーマン) 300ml	25 "
たからみりん	"	38 "

品名	数量	金額
味の素	375g	36 元
マヨネーズ	(キューピー)225cc	30 "
	(USA) 450g	48 "
洋がらし	(USA) 454g	105 "
飲料、嗜好品		
茶	180g	25 "
麦茶	300g	5 "
紅茶	220g	11 "
サイダー	1本	6 "
カルピス	"	26 "
コーラ	770cc	16 "
酒(日本酒)	1.8ℓ	190 "
ビール		17 "
ウイスキー	サントリオールド	300 "
	ホワイトホース	300 "
	ジョニ赤	280 "
煙草	宝島 20本	15 "
	總統牌	12 "
	長寿	10 "

(4) 外食

日本食については前記レストラン、料理屋等を利用して、朝、昼、晩3食で100～300元である。

中華料理については大衆食堂あるいは街頭の屋台店等を利用



し、麵類、ぎょうざ、丼飯程度ですませば1食20元前後。  
概して一般の中華料理は多人数（1卓12人）向きであり、  
小人数には量のみ多く不向きである。

西洋料理については、ホテル、食堂等を利用して1日100  
～300元程度でできる。

(⇒) その他

大概のものは価格にこだわらなければ日本製品、欧米製品と  
も入手が可能で、品質、衛生等の点を問題にしなければ現地  
製品で間に合う。

3. 衣類、日用品

(4) 衣料事情

① 一般的衣料事情

衣料品は殆んど化繊か化繊混紡で純毛、純綿、純絹はみか  
けない。（男物洋服地には英国製純毛と称するものがある）  
一般に下着類等は縫製が雑である。

② 必要とする衣類

夏物としては純綿下着類、麻混紡カッターシャツ、半袖シ  
ャツを持参するとよい。

台湾は一般に常夏の国と考えられているが、北部の冬  
（12月、1月、2月）は雨季にあたり意外に寒くなるの  
で冬物も用意した方がよい。（高雄では冬物不用）。

なお公式の会合でも礼服用用の必要はなく、いわゆるダー  
クスーツで十分であるが、1月1日（新年）および4月

29日(天皇誕生日)には大使公邸でカクテルパーティーがあり、指定はされないが、婦人の場合和服着用が多い。

③ 携行すべきもの

品質、デザイン等に特にこだわらなければ現地製で間に合う。

男女洋服類は、縫製加工賃(仕立代)が、日本と比較して安いので、日本から生地を持参して当地で仕立てさせる例が多い。

仕立代

男物背広上下 900~950元程度

女物ワンピース(夏もの、袖なし) 120元程度

(ロ) 日用品

大抵のものは現地製で間に合うが、日本に比べ特に高価なものとしてルームクーラー(2万元前後)、カラーテレビ(21インチ2万元前後)があげられる。

他の電気製品、日用品等も日本製とくらべ現地製は品質、デザイン等の点で劣り、故障をおこしがちである。

日本製品は輸入時関税、貨物税、臨時税等を課税されるので高価になるが、センター要員は協定上免税扱いなので、電気製品等は日本で調達、持参する方がよい。

化粧品類も日本品、米国品等が輸入されており、不自由はしないが、使いなれたものは持参するとよい。

#### 4. 使用人

##### ① 職業紹介所

有り。

公営、民営ともあるが、家庭使用人の斡旋は民営紹介所（有料）が主力である。

##### ② 具体的雇用方法

盗難等の事故防止のため、知人の紹介、前任者からの引継ぎ等による縁故採用が殆んどである。

当国人でも民営紹介所を利用するのは極く稀である。

##### ③ 給与月額

家庭使用人の給与は次第に上る傾向にあり、特に外国人家庭の使用人についてその傾向が著しい。

家事使用人についての法定最低賃金はないが、日本人家庭の場合大体次の通りである。

女中（住込） 1,200～1,500元

（通勤） 1,000元程度

なお運転手は個人家庭だと時間的に不規則で家事雑役的に使用されるのを嫌ってか雇われたがらず、給与も最低月2,500から3,500元程度の支給が必要となる。

##### ④ 最低必要とする使用人

住宅の広さ、生活条件、家族数等によるが、アパート型式の住宅で家族数の少ない家庭では使用人を雇わない家庭が増えつつある。

なお掃除人、洗濯人を1回20～30円で部分的に雇用す

ることもできる。

- ⑤ 雇用、解雇に際し特に注意すべき事項  
盗難等の事故防止のため、採用時の身元保証が最も必要となる。

## 5. 医 療

### (イ) 医療事情

#### ① 医療施設

大学附属病院等の公的診療機関、私立大病院、個人開業医等の医療施設は相当整備されている。

#### ② 日本人医師の有無

日本人医師は見当たらないが、日本の医大出身者等で日本語を解する医師も多く、言葉等ではあまり不自由はない。

#### ③ 出産についての安全性

安全である。

センター要員着任以来、既に3家族（台北2、高雄1）で出産の経験があり、いずれも母子共に健康である。

### (ロ) 医薬品

一般的な医薬品は殆んど現地で調達できるので特に持参すべきものはないが、使い慣れたものは持参する方がよい。

### (ハ) 疾病の種類

#### ① 風土病的なもの

衛生状態も次第に改善されてきており、風土病的なものは殆んどみられない。

たゞ小児マヒ患者を多く見かける。

また北部では冬期が雨季にあたり、神経痛、リュマチ等が多い。

② 日本出発前に特に予防注射をしておくべきもの

天然痘、コレラ、チフス

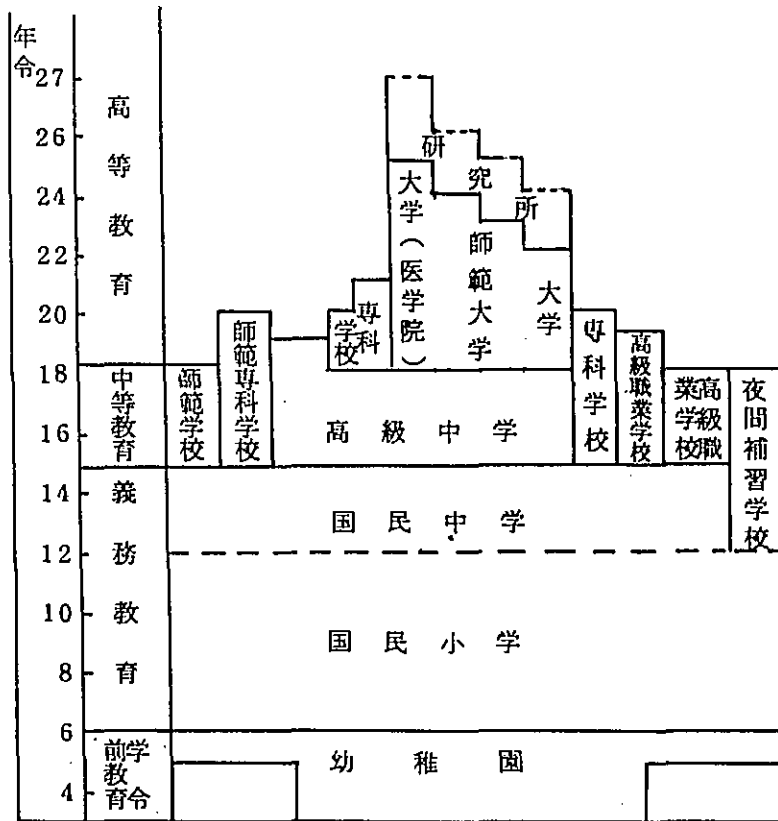
(三) 健康管理上の注意事項

夏期の連日30度を越す炎暑、冬期(北部)の低温、多湿、水質が悪く生水は飲めない、衛生状態は次第に改善されつつあるがなお不潔な環境が多い、生活、風俗、習慣のちがい、言語も違うといった中で業務を遂行しなければならない要員およびその家族としては、精神的、肉体的ストレスや疲労を蓄積させないよう、公私ともにゆとりのある充実した生活をおくるよう自己管理をする必要がある。

6. 子弟の教育機関

(イ) 教育制度の概要

学年度は9月開始、6月終了の二学期制である。



(ロ) 通常専門家の子弟が利用している教育機関

○ 日本人学校(台北)(46.7月現在)

生徒数	—	小学部260人、中学部49人
教員数	—	15人
入学金	—	500元(小、中共同じ)
授業料	—	800元(小)、1,100元(中)
寄附金	—	500元(小、中共同じ)
学校運営協力費(帰国時返却)	—	4,000元(小、中共)
スクール・バス	—	300元(小、中共)
教科書	—	無償配布

○ アメリカン・スクール

授業料	—	3,495元/年間
課外活動費	—	800＃/年間
スクール・バス代	—	500＃/年間
給食費	—	270＃/年間

○ 中国小学校(私立)

授業料	—	386元/10ヵ月平均
給食費	—	200＃/＃
服装費	—	150＃/＃
スクール・バス	—	250＃/＃

○ ドミニカ小学校(高雄)

授業料	—	367元
スクール・バス代	—	200＃

## 7. 娯楽設備

### (イ) 保養地、ゴルフ、ボーリング、映画等

温泉、海水浴場等の行楽地は南北ともに存在する。

ゴルフ場も著名なものに淡水ゴルフ場等があり、当地富裕階級、外交官、日本人商社員等が多く利用している。

ボーリングも相当盛んで、台北市内に数か所、高雄市内に2、3カ所あり、青年男女で賑っている。

映画は次第にテレビにおされてきてはいるが、まだまだ観客動員数も多く、大衆娯楽の王座を占めている。

日刊紙(10頁)の1頁程度を映画広告が占めており、時折り日本映画も上映される。

なお最近税制改正が予定され、ゴルフ、ボーリングに娯楽税を賦課することになり、更にテレビ視聴にも娯楽税を課する案が検討されているといわれている。

#### 利用料金

ゴルフ	—	入会金20万元、1ラウンド360元、 ハーフラウンド180元、キャディフィー50元
ボーリング	—	1ゲーム25元
映画	—	大人24~33元、小人12~17元 (一流館)
プール(私営)	—	大人25~50元、小人15~30元

### (ロ) 通常の余暇の過ごし方

旅行、スポーツ(ゴルフ、ボーリング、テニス、水泳、釣等)  
トランプ、囲碁、将棋、麻雀、書画、生花、園芸、手芸、読



書等又日本におけるものと大差ない。

(4) 日本人クラブ、スポーツクラブの有無、料金

台湾日僑協会という日本人会がある。

個人会員として加入する場合、1人入会金20元、会費150元/年間で映画会、忘年会、登山、ハイキング等の福利厚生活動が行なわれており、特に婦人部は料理、書道、手芸、英会話、中国語入門等の講習会を開催する等相当活発におこなわれている。

この他ゴルフ、テニス等の同好者のサークル活動的なものもある。

8. 電 力

家庭用 110V、60 cycle

最近の住宅ではルームクーラー専用配線を220Vで行なっている。

9. 交 通

(1) 交通事情

① 一般交通機関

陸上、海上、航空とも相当発達している。

鉄道……幹線鉄道は基隆～台北～大甲～彰北～嘉義～台南～高雄を結ぶ400kmの従貫線である（ジーゼル特急で6時間、料金片道259.5元）。

支線としては東部海岸の台東線（花蓮～台東）、北部の宜

蘭線（台北～蘇澳）、淡水線（台北～淡水）、屏東線（高雄～屏東～枋寮）等がある。

道路は主要幹線はほぼ舗装されており、公路局バス、民営バス等が主要都市間を結んでいる。

海上は基隆、高雄、花蓮が国際貿易港で世界の主要港との間に航路が開設されている。

航空は台北国際空港には定期便として日航、ノースウエスト、キャセイ、タイ、韓国、フィリピン、ベトナム、中華航空等一日約50便の発着があり巨人機も発着している。高雄航空は本年（1971）秋、国際港に昇格する予定で現在拡張整備が進められている。

また国内航空としては、中華航空、遠東航空の2社があって台北、台中、台南、台東、花蓮、高雄、馬公の各都市を結んでおり、利用客も多い。

台北～高雄間の航空料金はエコノミ片道440元である。

## ② 道路事情

台北、高雄等の都市内および都市間を結ぶ主要幹線道路は舗装（簡易舗装が多い）されており、比較的良好といえる。

## ③ 特に注意すべき交通法規

自動車はすべて左ハンドル（右ハンドルは使用禁止）。

台北市等の都市では、車の増加に比し道路関係の整備（拡幅、立体交叉、陸橋、横断歩道、信号機、駐車場等の設置等）がおくれている。

特に歩行者、オートバイ、自動車の交通法規無視等が多い

ので、運転には充分注意すること。

④ 交通事故の取扱い

事故現場の処理は交通警察に任せ、以後の処理は保険会社に任せるのがよい。

⑤ 事故補償

◦ 意外保険（強制）

保険料 1,300元/年間

保険金 傷害 5万元

死亡 10万元

◦ 総合保険（任意）

保険料 1,800元/年間

保険金 車体部品事故 6万元

(ロ) タクシー、ハイヤーの利用、料金

中華民国はタクシー料金の安いことで有名であったが、71年の一斉値上がりで平均30%程度のupとなった。

タクシー、ハイヤーの数は多く、特にタクシーは深夜まで流しているため、都市部では利用に不便を感じることはない。

タクシー料金 基本料金 1Kmまで 6元

あと 500m毎に 2.5元

ハイヤー料金 基本料金 2Kmまで 15元

あと 400m毎に 2.5元

(ハ) レンタカー

レンタカー制度はなく、タクシー、ハイヤーを利用する。

(ニ) 自動車購入

① 購入方法、融資方法

日本出発前にディーラーと契約して無為替輸出手続をとっておく。

購入代金の支払いについては通常東京銀行の斡旋により東銀ニウヨーク信託会社を利用し、2,000～3,000ドルの融資を受け、20回払いで返済する方法がある。

② 免税輸入特権

協定上免税である。

免除される課徴金の種類は次の通りである。

1. 関税

1. 貨物税

1. 臨時税（防衛損）

1. 汽車牌照税

1. 汽車燃料使用費

③ 帰国時の売却方法、課税

協定上、免税輸入物件については、帰国時に持帰ることになっているが、売却も可能な模様である。

勿論売却時には課税される。

(付) 運転免許

① 国際免許の有効性

日本で取得した国際免許証は発行後1年間有効であるから1年以内に当国免許証に替換えること。

替換には申請書をそれぞれの居住地の管理処へ提出、必要な身体検査の後新免許証を交付してくれる。

手続料は 50 元である。

② 免許取得の方法、経費等

現地で新規に運転免許を取得するには試験前に 3 カ月間の練習運転（所持者の同乗による限定地域内での運転）をしなければならない。

免許試験（学科、実技、身体検査）そのものは比較的簡単である。

手続き費用は約 100 元である。

(ハ) ガソリン代

經濟部所属の国営事業である。

ハイオク 6.7 元/ℓ

レギュラー 5.7 元/ℓ

10. 為 替

(イ) 相 場

売 1 米ドル = 40.1 元（新台幣）

買 " = 40.0 元

(ロ) 滞在費等の受取方法

台湾銀行、台湾第一商業銀行等に普通預金口座を開設し、東京銀行から送金依頼書により送金してもらおう。

引出しは現地通貨（新台幣）である。

なお 1971 年 10 月から滞在費の自由円口座への払込が制限されすべて海外直接送金（東銀＝ウヨーク信託会社を利用）されることになった。

## 11. 出入国管理

### (イ) 税関検査

#### ① 一般事情

国産品奨励、保護貿易的色彩が強く、また政治的問題もあって税関検査は比較的嚴重である。

特に郵便貨物の通関には陸揚港到着後2週間から1カ月を要する。

#### ② 持込禁止品（国際的禁止品以外の）

国外印刷物（新聞、雑誌類とくに政治的色彩の強いもの、ワイセツなもの）

通信機器

#### ③ 入国に際しての注意事項

入国時には、携行品は勿論エア・アナカンおよび船便後送の個人用物品についても一括申告をしておかなければならない。

なおエア・アナカンの税関検査は特に嚴重であり、手続きが繁雑である。

#### ④ 持出禁止品

金塊

外国書籍、レコードの複製品（海賊版）

### (ロ) 外国人登録、ビザの更新手続き等

センター要員およびその家族は、公用旅券で公務ビザであるため、居留登録の必要はない。

ビザの更新手続きは中華民国から出国し、再入国する際必要

であるが、最初の入国から継続して滞在している間は更新手続き不用である。

なお一般旅券、観光ビザで入国の場合、ビザの有効期間は入国日から1カ月間であるが、台北市の場合、市警察局（服務処）の窓口で延長申請をすれば1カ月に限り延長許可される（再延長はできない）。

## 12. 便宜供与

### (イ) 便宜供与の種類

#### ① 住宅手当等の現金供与

協定上適当な家具付の宿舍を提供されることになっており現金供与はない。

台北市居住要員 民営貸家の借上貸与

高雄市居住要員 原則として要員宿舍に入居（最近転居の自由が認められることになった）

#### ② 出張旅費

・当国側が日本人要員について定めた基準により支給される。

交通費（航空運賃、鉄道運賃） 実 費

宿泊費 台北市 1泊250元以内の実費

その他 " 200 "

日 当 首席顧問 1日240元

副 " 200 "

その他 160 "

- ・通勤、市内公用等については原則として公用車が配車される。

首 席 専用乗用車配車

北区要員 通勤用にはマイクロバスとされているが、台北～基隆間の片道約1時間の通勤には不向きで個人自動車により通勤中（ガソリン代および有料道路通行料の一部センター負担）

南区要員 通勤にはマイクロバスとされているが、現在は副首席は普通乗用車、その他の要員はマイクロバスまたは自家用車で通勤している。

③ その他

医療関係については要員は要員本人を被保険者とする「国際技術会作人員総合保険」に保険料当国側負担で加入している。

給付対象の保険

意外死亡

意外残廢

意外傷害医療

疾病住院医療

航空旅行

要員家族の疾病については、本人が立替払いとし、医師の領収書により当国側が負担することになっている。

(ロ) カウンターパート、通訳



カウンターパートについては南、北両センターで1970年度は訓練職種ごとに1名の計14名を日本で訓練させた。

1971年度は更に陣容を強化して17名を増員、1972年度も若干の増員をおこなって1職種30名の訓練生に3名の当国側カウンターパート配置を目途として実充を図ることになっている。

カウンターパートはいずれも日本語が可能である。

定例会談その他重要会議には通訳を必ず入れることにしているが、国営事業委員会第3組の職員、台湾電力からの借用、センター職員、カウンターパート等があたることになり、専任の通訳はいない。

(b) 免税特権

協定上の免税特権以外はない。

従って酒、煙草、食品、その他は一般商店等で購入する。

13. 通信、運輸

(1) 郵便事情

① 安全性、配達システム

郵便、電信は国営（交通部所管）であり、比較的発達しており、安全性も高い。

郵便物は各戸配達であるが、小包等は配達時家人不在の場合、再度配達されることはなく本局で受領しなければならない。

② 電報、電話サービス等

比較的良好である。

都市の電話はダイヤル式である。

市外通話もダイヤル即時通話の地域が広がりつつある。

なお要員宅の電話は当国側負担で設置され、主席、副首席については公用に限り、電話使用料も当国側負担となっている。

③ 手紙、電報の日本～現地間の所要日数

手 紙：(Air Mail) 台北、高雄←→東京、大阪 4.5日  
(Sea " ) " " 約1ヵ月

電 報： 台北 — 東京 即日または翌日

国際電話：台北、高雄～東京で申込手続き後30分～1時間  
間につながる。

料金は1通話3分まで257.4元、超過1分毎  
86元。

(ロ) 運 送

① 陸送、海送業者ともあり、日本通運の代理店もある。

運賃(海上) 日本～基隆 10万円/トン

(陸上) 基隆～台北 7,000元/大型トラック1台

② 家財送付上の手続、宛名、注意事項

- ・宛先は台北市居住の場合

經濟部国営事業委員会転または經濟部北区職業訓練中心  
転〇〇〇収

- ・高雄市居住要員は

經濟部南区職業訓練中心転〇〇〇収とする。

なお住居が決定している場合はその住居宛でよい。

・住 所

經濟部国営事業委員会

台北市漢口街一段109号、電話 台北 373161

經濟部北区職業訓練中心

基隆市和平島平一路33号、電話 基隆 28136

經濟部南区職業訓練中心

高雄市凱旋四路二之1号、電話 高雄 239781

14. 言 語

(イ) 公用語、その他

公用語は中国語または英語である。

中国語は方言が多いが（上海、福建、広東、台湾等）北京語が国語とされている。

英語は、初級中学以上の必修外国語となっており、普及度も比較的高い。

いわゆる本省人（台湾省人）のうち30才代後半以上の年齢層ではある程度日本語教育を受けており、日本語を話せるものも多いが、30才前半以下とくに20代以下の若年層はホテル、観光土産物店の従業員等職業上必要のある者以外、殆んど日本語は解せない。

(ロ) 現地語事前学習の必要性

中国語（国語）の学習が望ましい。

(ハ) 語学々習の施設、受講時間

外国人旅行客の50%以上が日本人で、しかも毎年増加の傾向にあり、中国人に対する日本語学習施設は随所に開設されているが、特に中国語を外国人を対象に専門に教えている施設はない。

従って学習する場合はテーブル等による自習か個人教授（1時間約50元）を受けることになる。

#### 15. 気 候

台湾省の気候は中部から北部にかけて温帯、南部は亜熱帯（北回帰線は嘉義市北方を通過）で、山地を除く北部の年平均気温は21.6度、南部は24.3度といわれるが、北部の冬（12月～2月迄の約3ヵ月）が雨季にあたり、意外に低温多湿である。とくに北区センターの所在する基隆市は「雨の都」といわれ、年365日のうち300日も雨が降る多雨地帯である。

また空気汚染、水汚染がひどく台北、高雄、基隆の3市は東京、川崎、尼崎並の代表的な公害都市といえよう。

#### 16. 治安

##### (イ) 一般情勢

戦時体制下であり、軍（憲兵組織）および警察力は強大で比較的治安は良好といえる。

しかし一般的な犯罪は非常に多く、強盗、傷害、せっ盗等もあって新聞種に事欠かない有様である。

##### (ロ) 夜間外出上の注意

禁止令等はない。

(イ) 緊急時における大使館等との連絡方法

要員名簿を大使館（高雄は総領事館）に提出しており、緊急時の連絡は、電話等によりおこなわれる。

17. その他

(イ) 対日感情、現地人気質

概して対日感情は良好といえる。

いわゆる外省人（大陸出身者）に比べ、本省人（台湾省人）の方が親日感をもっているが、最近の国際情勢の変化が対日感情に微妙に影響することは避けられない。

さらに義務教育（国民小学校）の教材（国語読本）内容に日本の大陸侵略と抗日、抗共の勝利をうたったもの等がみられ、テレビ、映画等でもこれらを主題としたドラマが比較的多く放映、上映されているように見受けられ、日本語を解しない（英語は解するが）世代への移行が対日感情の変化をもたらすこともまた避けられない情勢である。

(ロ) 新聞・雑誌等

① 日本よりの購読方法、購読料

現地の取扱店に注文、新聞、雑誌類については内政部の購読許可をうけて購読できる。

新聞は航空便で、通常台北市では前日の夕刊および当日の朝刊が午後3時頃各戸に配達される。

記事内容により検閲の際切り取られたり、没収されたりす

ることがあり、最近中国関係のニュース記事等が検閲にかかり、遅配、欠配が多くなってきている。

なお高雄市の配達は、台北の取扱店からの郵送のため、さらに1日遅れることになる。

#### 購読料

朝日、毎日、読売等	570元/月
日刊工業等	520#/月
週刊誌(サンデー毎日等)	35#/冊
文芸春秋等厚手のもの	60#/冊
婦人雑誌(主婦の友等)	120#/冊

#### ② 日本語雑誌等の販売店の有無

台北市には数軒の日本書籍専門店がある。

これらの販売店での購入(船便輸入)代価は、日本における定価の20%を新台幣価格として取扱っている。

例 日本の定価1,000円の場合…20% 200元

#### (4) 風俗・習慣

##### ① 特に禁じられている風習、食習、チップ等

- ・異様な風態(ヒッピー風、長すぎる長髪、短すぎるミニスカート等)等は取締の対象となる。
- ・賭博、類似行為は禁止され、競馬、競輪、パチンコ、麻雀屋等はない。
- ・公務員は酒屋等女子が接待にあたる場所への出入を禁止されている。
- ・一般にチップの風習はないが、空港、ホテル等ではボー

ター、ボーイ等にサービスの程度に応じ、10～50元  
を与えるのが普通である。

ホテル、高級レストラン等での飲食には10%のサービ  
ス料が加算される。

② 専門家としての体面

服装、言語、態度等に留意すること。

(三) 理髪・美容、クリーニング店

理髪店、美容院は一般に日本に比べて安価であるが、設備、  
衛生状態はやゝ劣る。

料金

散髪(洗髪、顔剃を含)	一般(台北)	30元
	(高雄)	20＃
	ホテル(台北)	100元
パーマ	一般(台北)	100＃
	(高雄)	100＃

クリーニング店は大規模なものが台北に一社あり、比較的技  
術もよい。

料金

男物	背広上下	60元
	ズボン	15＃
女物	ツーピース	40～50元
	ワンピース	30元
	毛布	40＃
	レインコート	30＃

(外) 買 物

台北市内には百貨店が数店（特に有名なもの2店）、高雄市1店がある。

スーパーマーケットが最近増えてきている。

百貨店等では原則として値引はしないし、また政府としても定価表示販売を奨励していることもあって近代化した店舗では定価販売の店がふえつつある。

一般的にはかなりの値引に応じ、特に観光客めあての土産物店等では5割程度の値引に応じるところもある。

(イ) 今後赴任する専門家へのアドバイス

現地事情（業務面、生活面）についてできるだけ多くの新しい情報を収集し、確認して赴任することが望ましい。



II 同国に対する我国の技術協力実績

昭和47年3月31日現在

形態	区分	農 水 産	建 設	鉄 工 業	運 輸	通 信	厚 生	行 政	そ の 他	累 計 (人)	経 費	
											(千円)	(千米、 ドル)
研修員受入		740	93	291	106	111	119	191	331	1,982	279,051	775
専門家派遣		50	24	103	53	22	17	7	8	284	134,561	374
セン タ ー	名 称	業 務 内 容						期 間	要員数	54,412	151	
	台湾職業訓練 センター	上、中、下級技術者の 訓練						44. 12 48. 12	15			
開 発 調 査	名 称	調 査 内 容						期 間	団員数	3,031	8	
	東南アジア・ デルタ調査 タイ、ビルマ パキスタン、 インド	当該国の主要なデルタ 地域について、かんが い排水を中心に農業事 情調査を行ない開発の 方向を検討						37. 11 38. 2	3			
	高雄港拡張計 画調査	台湾南部の高雄港は近 年貿易量の飛躍的拡大 にともないその規模の 拡張が急がれている。 そのため第二港口の新 設が立案され、この技 術的調査						40. 3. 4 40. 3. 30	5	2,280	6	
	台南市都市計 画調査	台南市の人口増加に対 処し、市街地の集中化						40. 12. 3	5	2,349	7	

	名 称	調 査 内 容	期 間	団員数	(千円)	(千米) (ドル)
開 発 調 査		を緩和するため、新市 街地開発の可能性の基 礎調査	40.12.27			
	西海岸河川改 修計画調査	台湾西部沖積層地帯を 流れる濁水溪等は未改 修のため年々洪水氾濫 や土砂堆積に悩まされ ている。 これに対し砂防及び築 堤等による上下流一貫 した河川改修計画に関 する基本方針の勧告	42. 8 } 42. 9			
	東南アジア域 内電気通信網 整備計画調査	東南アジア各国の電気 通信整備計画のうち、 立ち遅れのはなはだし い域内各国相互間の通 信施設の急速な整備拡 張を計るための基礎調 査	42. 10 } 42. 11	6	4,851	14
	立霧水力発電 計画調査	中華民国東部花蓮県の 立霧水系水力発電計画 について、地質、水分 設計等の現地調査と本 計画の開発方針に関す る基礎調査報告書の作 成	43. 2 } 43. 3 44. 8 } 44. 10	6  5	5,825  14,778	16  43
	沿岸鉱物資源 調査	台湾西部地域の北部、 中部及び南部の各地域 において延長160kmに	43. 6 } 43. 8	9	18,619	52

	名 称	調 査 内 容	期 間	団員数	(千円)	(千米) ドル
開 発		およぶ観測線の屈折法 地震探査を実施し、国 内において観測結果の 資料分析を行ない報告 書を作成する				
	新港建設計画 調査	既存の基隆港は飽和状 態のため北部又は中部 に新しい外貿商港を開 発する必要があり、候 補地として淡水、棲梧 蘇澳があげられている がこの三地点につき計 画調査	43. 8 } 43. 12 44. 1 } 44. 2	18	11,261	33
	東南アジア6 カ国鉄鋼業開 発拡充調査	ECAFE(AIDC) を 通じ要請のあった東南 アジア6カ国に調和の とれた鉄鋼業を建設す るためのフィジビリテ ィ調査を実施する	43. 6 } 43. 7	8	12,082	34
	台中港建設計 画調査	新国際貿易港建設予定 地である梧棲地区に対 する国際貿易港の建設 計画に関するフィジビ リティ調査	44. 12 } 45. 1 45. 6 } 45. 7	9 4	15,430	43
調 査						
	名称	供与先機関	年度	数 量		
	密検取縮り用 機材	台湾省警察本部	41	1式	537	1
機材 供与	T V中継車	B . O . O	44		4,953	14

	名 称	供与先機関	年度	数量	(千円)	(千米) トル
機 材 供 与	多目的超音波 診断装置	台 湾 大 学	44		63,643	177
	分析用超遠心 機	"	44		12,953	36
	コバルト60	省 立 病 院	44		10,729	30
	地下水水位機 材	経 済 省	46		4,013	

Ⅲ 大使館等連絡先

大 使 館

住 所 Embassy of Japan,  
No.43,2nd Section,  
Chi Nan Street,Taipei,  
TAIWAN,Republic of China  
(台北市濟南街2段43号)

電 話 386150-4

総領事館

住 所 Consulate-General of Japan,  
Kvotai Building No.108,  
Chung-Hva Third Road,Kaohsiung,  
TAIWAN,Republic of China.  
(高雄市中華3路108号国泰大樓)

電 話 226620,226621

中華民國職業訓練センター

住 所 (北区センター) 中華民國基隆市和平島平一路33号  
經濟部北区職業訓練中心

電 話 基隆28136

住 所 (南区センター) 中華民國高雄市別墅四路2之1号  
經濟部南区職業訓練中心

電 話 高雄 2 3 9 7 8 1

經濟部国营事業委員会

住 所 中華民國台北市漢口街 1 段 1 0 9 号  
經濟部国营事業委員会 気付

電 話 台北 3 7 3 1 6 1

